

# VANTED

## 代謝マップ

### 作成 / 編集方法

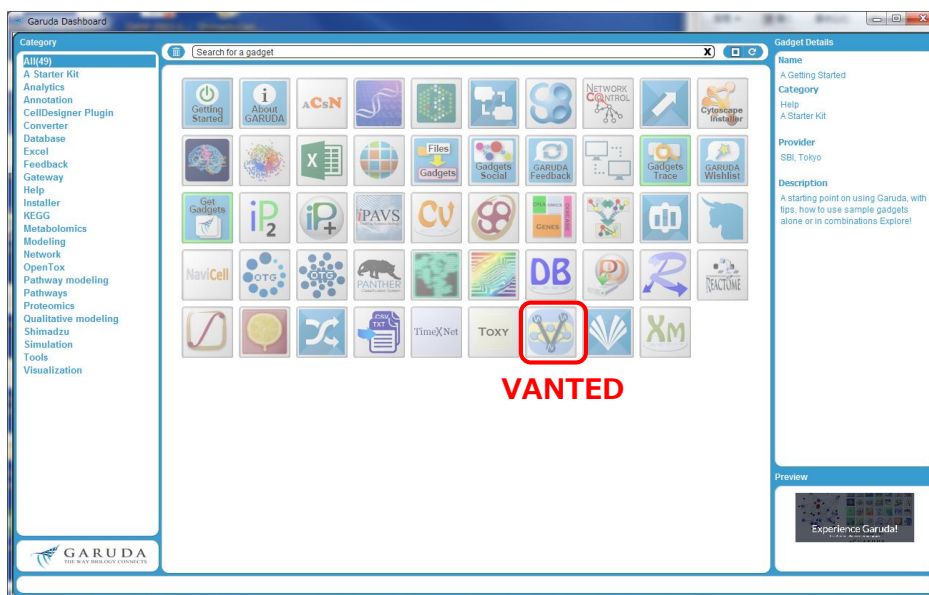


## 目次

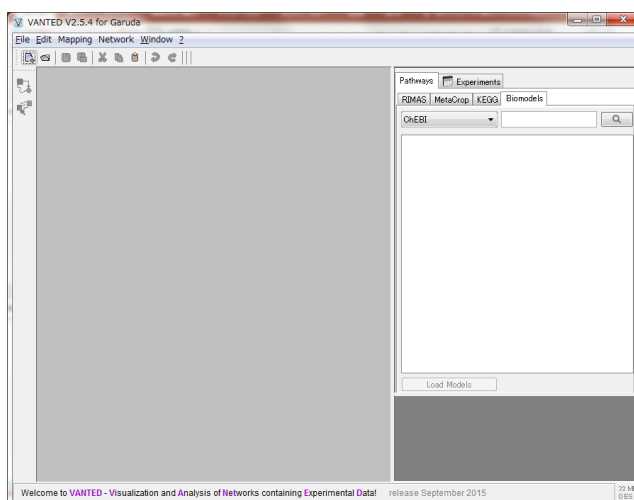
1. Garuda、VANTEDの起動	3
2. 代謝マップの作成	4
2. 1. 新規代謝マップの作成	4
2. 2. 必要な箱の作成	5
2. 3. 箱のレイアウト変更	6
2. 4. 箱と箱をつなげる	8
2. 5. 線のレイアウト変更	9
2. 6. 化合物名の表示	10
2. 7. 保存	12
2. 8. バーのレイアウト変更	13

## 1. Garuda、VANTEDの起動

デスクトップにあるショートカットからGarudaを起動させます。  
Garudaが起動すると、以下の画面が出ます。



VANTEDのアイコンをクリックし、起動させます。  
VANTEDが起動すると、以下の画面が出ます。

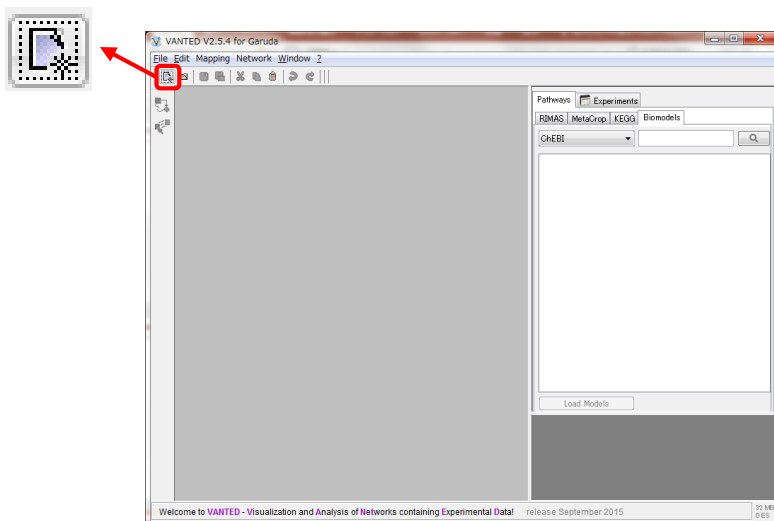


## 2. 代謝マップの作成

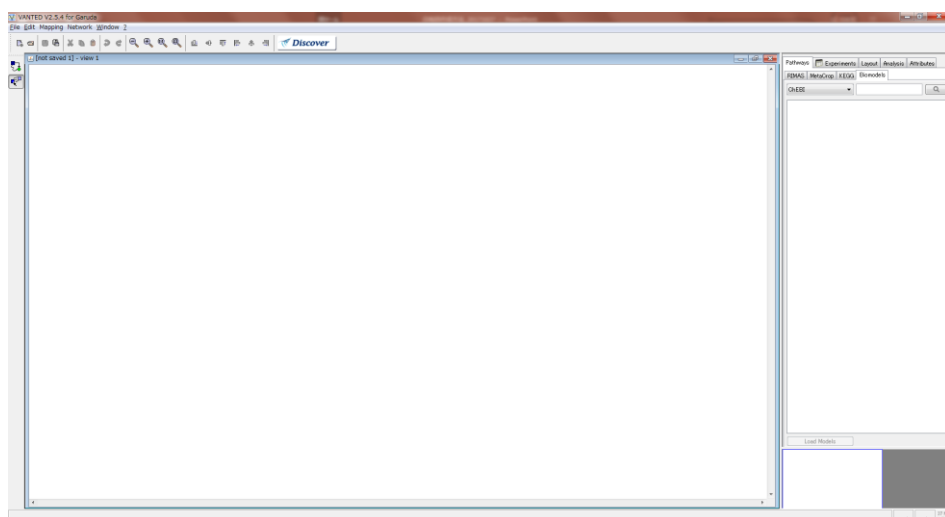
### 2. 1. 新規代謝マップの作成

新規に代謝マップを作成します。

[Open an empty graph] のアイコンをクリックします。



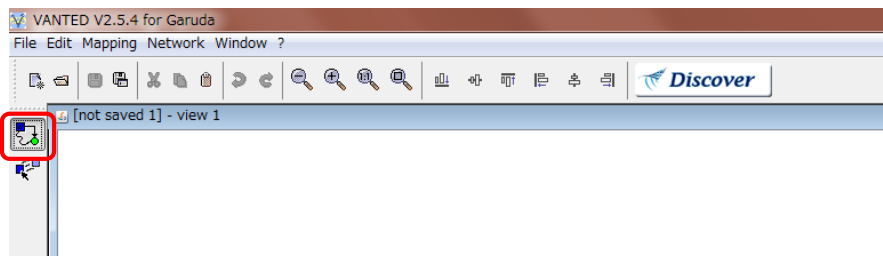
以下の画面が出ます。この画面に代謝マップを作成します。  
ここでは、一例としてTCAサイクルの代謝マップを作成します。





## 2. 2. 必要な箱の作成

代謝マップに必要な箱を作成します。

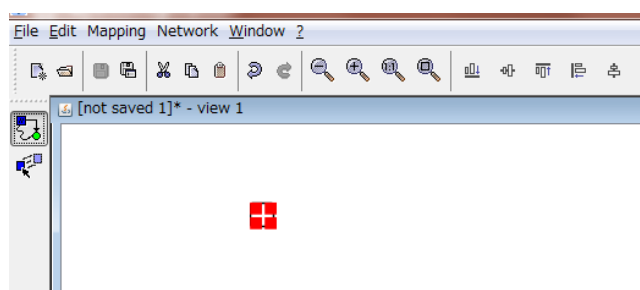
まず、以下のアイコンをクリックします。



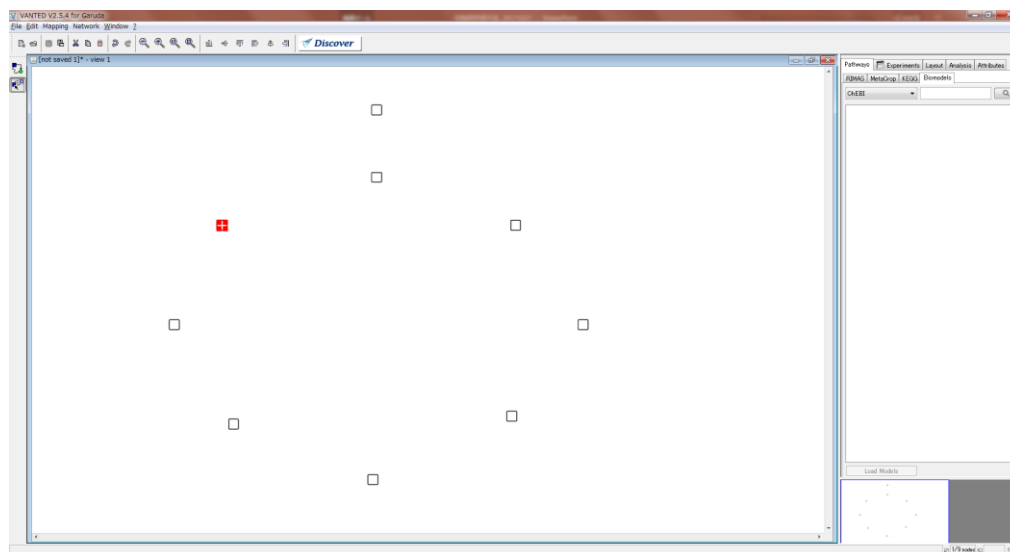
\*  は、箱を作成したり、箱同士をつなげる際に使用します。

 は、箱や線を選択する際に使用します。

クリックすると、箱が作られます。



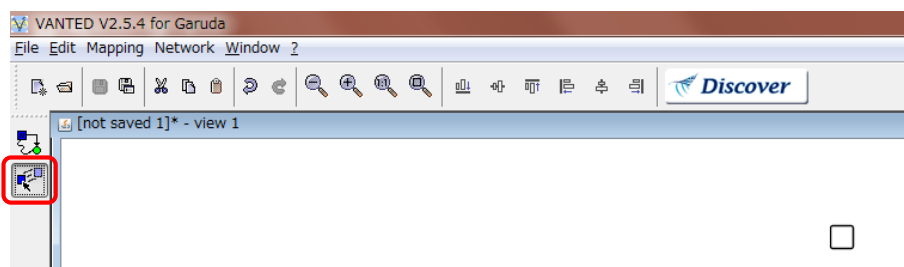
以下のように、TCAサイクルに必要な分の箱を作成します。



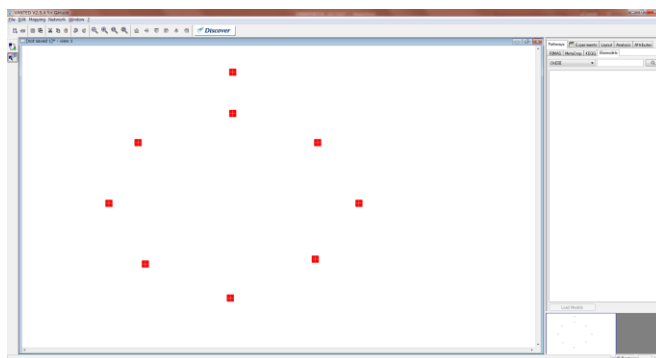
## 2. 3. 箱のレイアウト変更

作成した箱の大きさや色などのレイアウトを変更します。

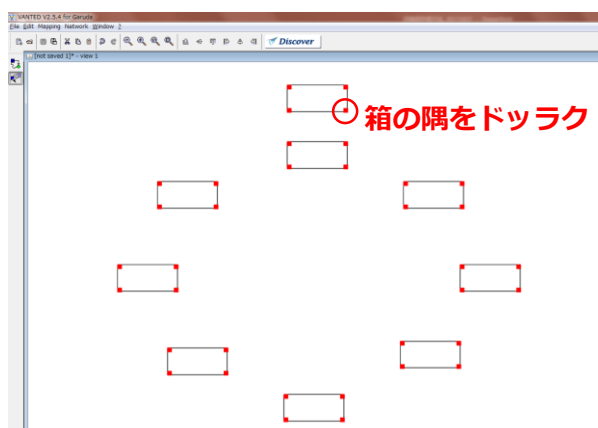
以下のアイコンをクリックすると、箱を選択できるようになるので、アイコンをクリック後、レイアウト変更したい箱をクリックします。



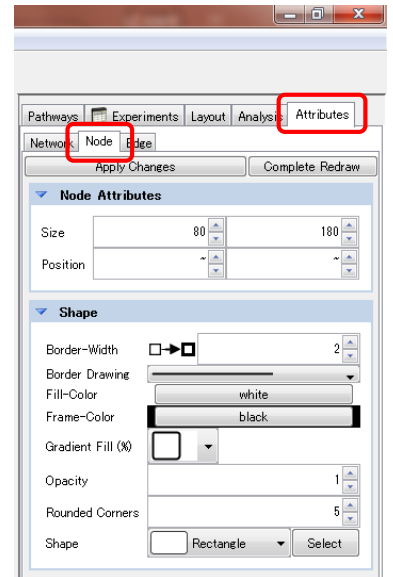
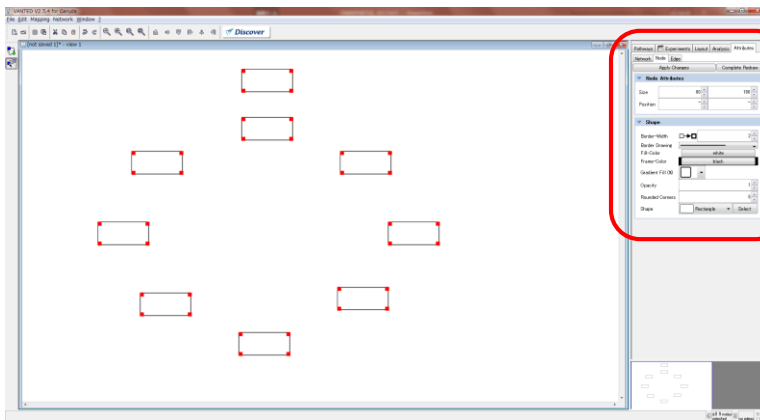
\* 複数の箱を同じようにレイアウト変更したい場合、対象とする箱をドラッグすることで複数選ぶことができます。



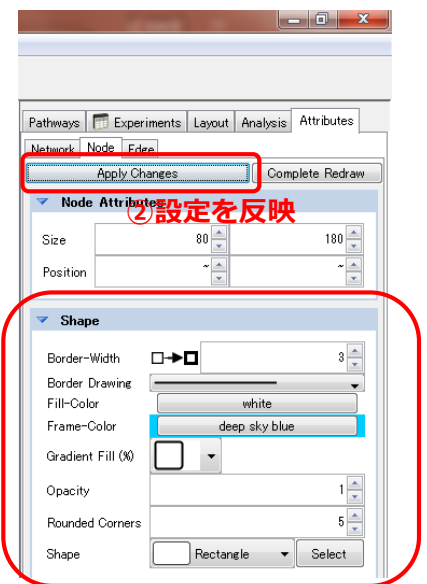
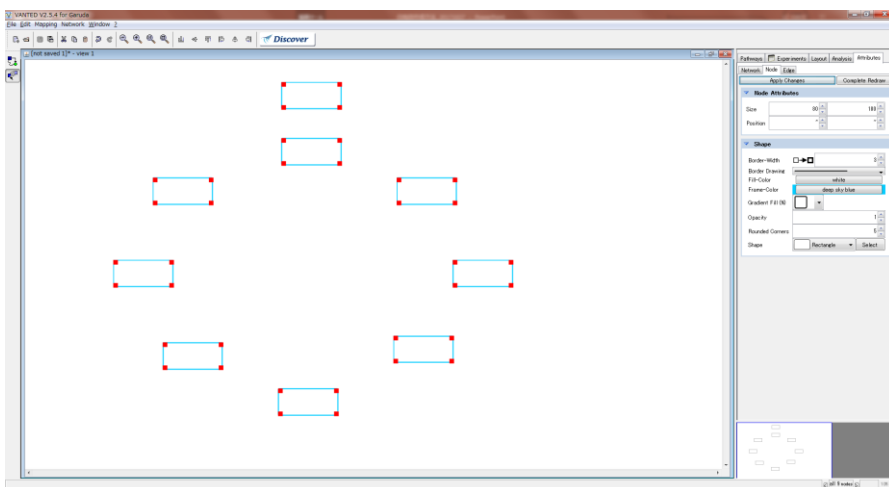
箱の隅をドラッグすることで、箱の大きさを変更できます。



画面右の[Attributes]→[Node]から箱の色などを変更します。

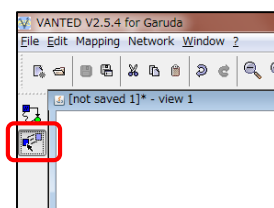


箱の外枠の線の太さ、色を右のように設定しました。[Apply Changes]をクリックすることで、その設定が反映されます。



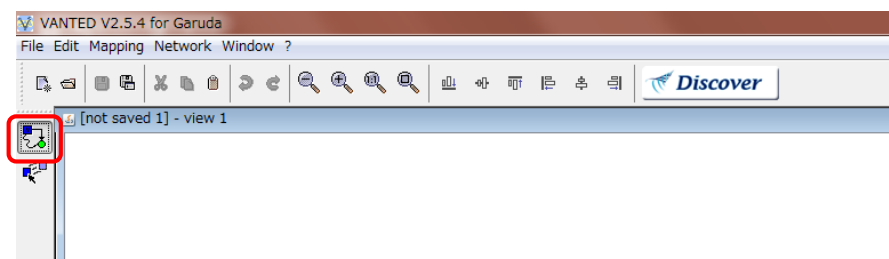
①箱のレイアウトを設定

\* 箱の位置を調整したい場合、右のモードになっていれば、位置調整したい箱を選択し、位置調整可能です。

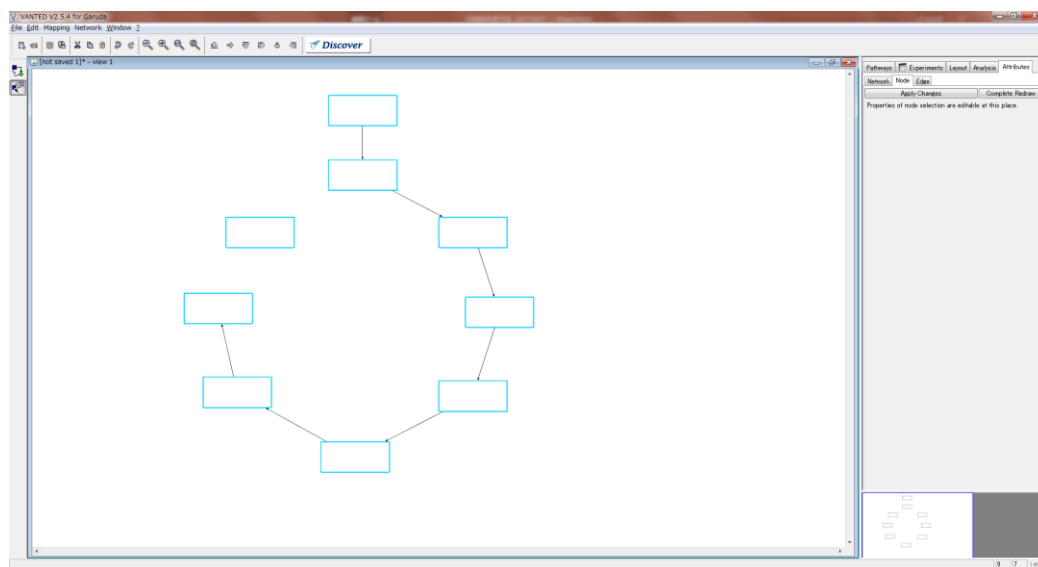


## 2. 4. 箱と箱をつなげる

作成した箱同士を線でつなげます。以下のモードに変えます。



つなげたい箱同士をドラッグで結び付けます。



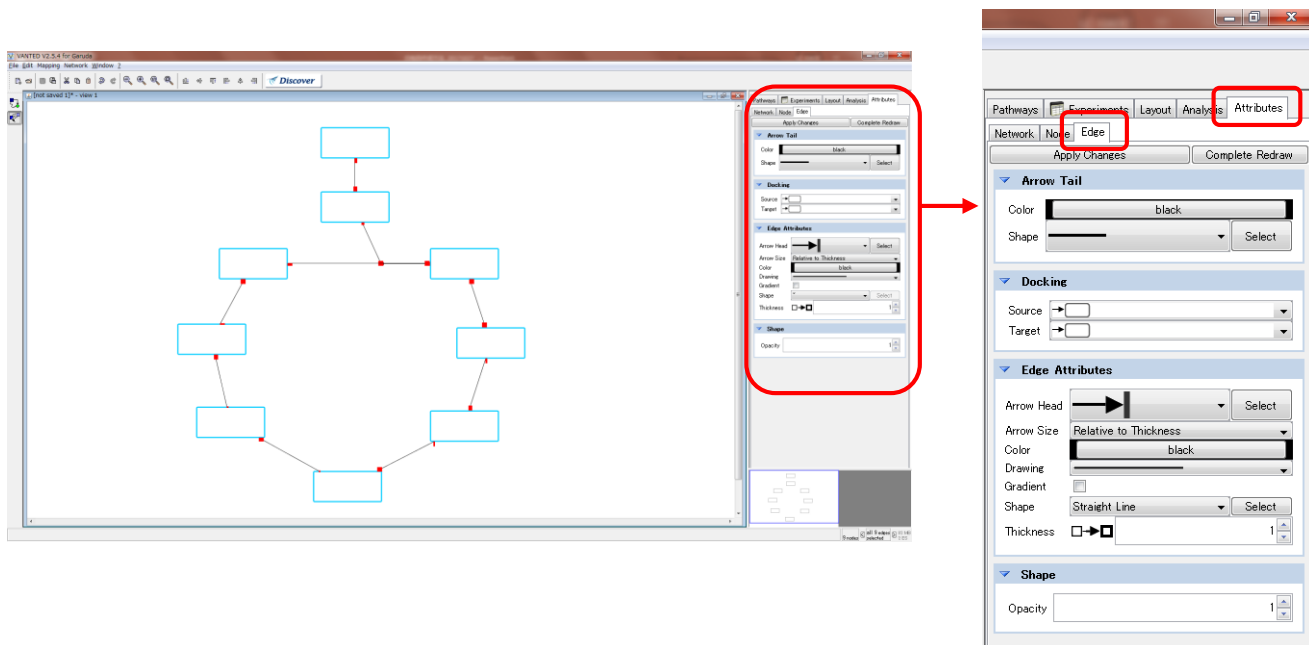
線を消したい場合は、消したい線をクリックして選択し、キーボードの Delete ボタンを押して消してください。



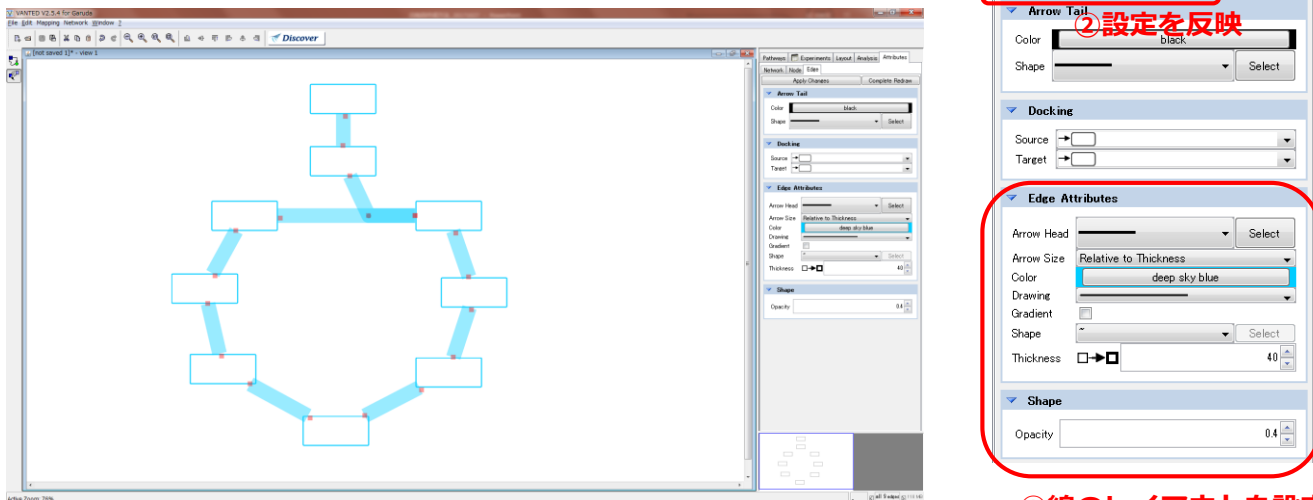
## 2. 5. 線のレイアウト変更

箱同士をつなげた線のレイアウトを変更します。

線を選択し、画面右の[Attributes]→[Edge]から線の色などを変更します。



線の種類、色、太さなどを右のように設定しました。[Apply Changes]をクリックすることで、その設定が反映されます。

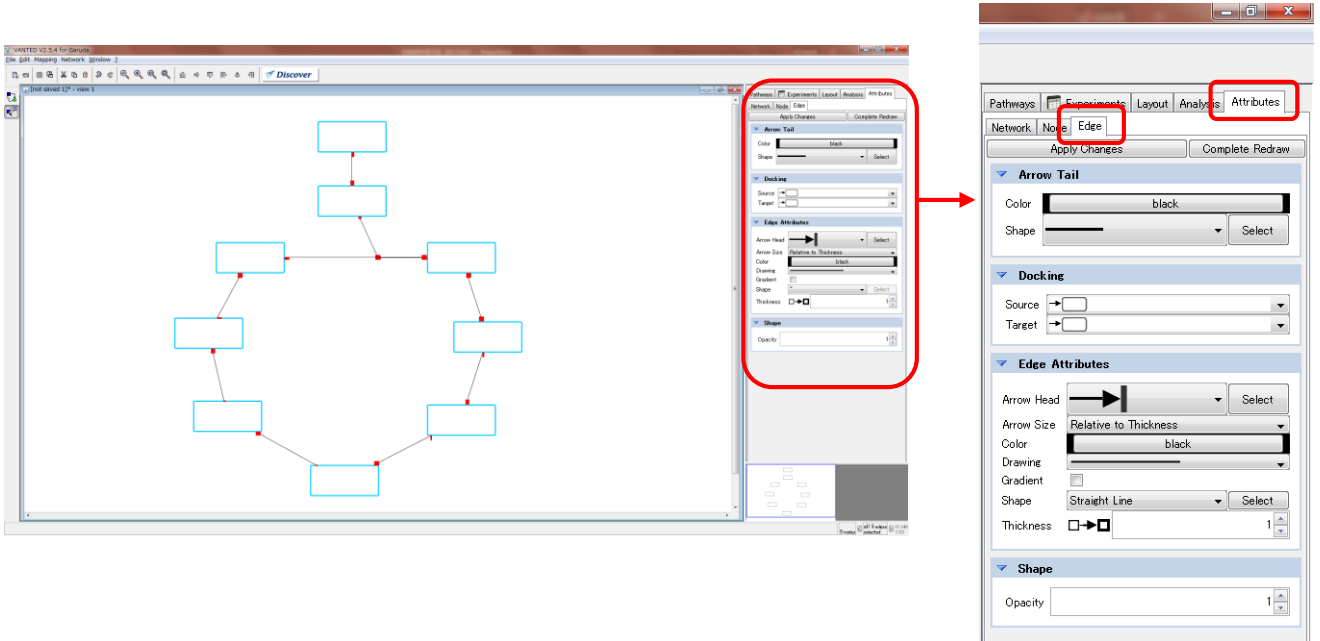


①線のレイアウトを設定

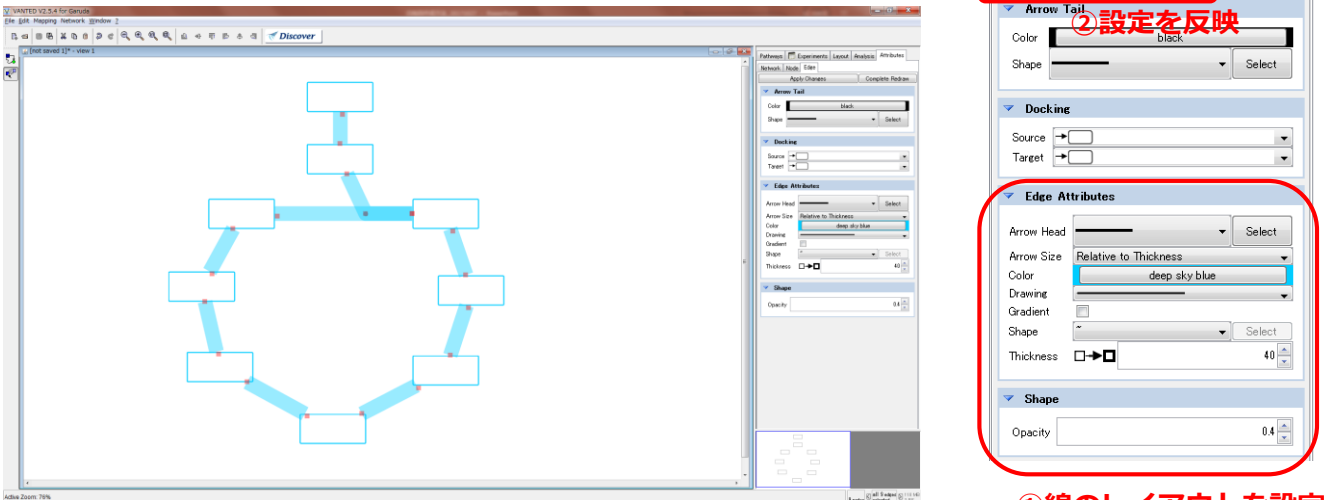
## 2. 5. 線のレイアウト変更

箱同士をつなげた線のレイアウトを変更します。

線を選択し、画面右の[Attributes]→[Edge]から線の色などを変更します。



線の種類、色、太さなどを右のように設定しました。[Apply Changes]をクリックすることで、その設定が反映されます。

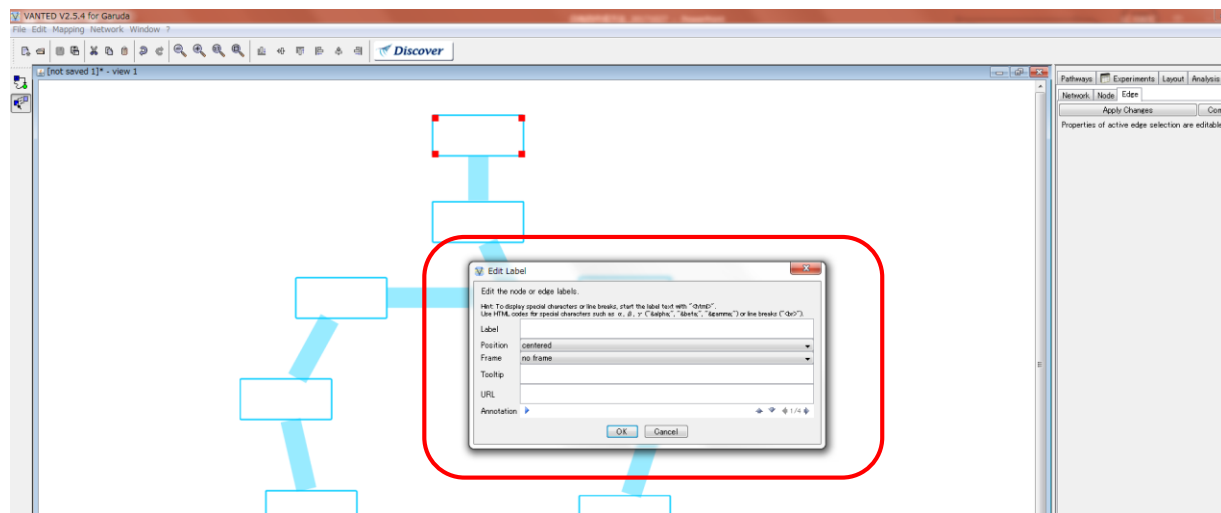


①線のレイアウトを設定

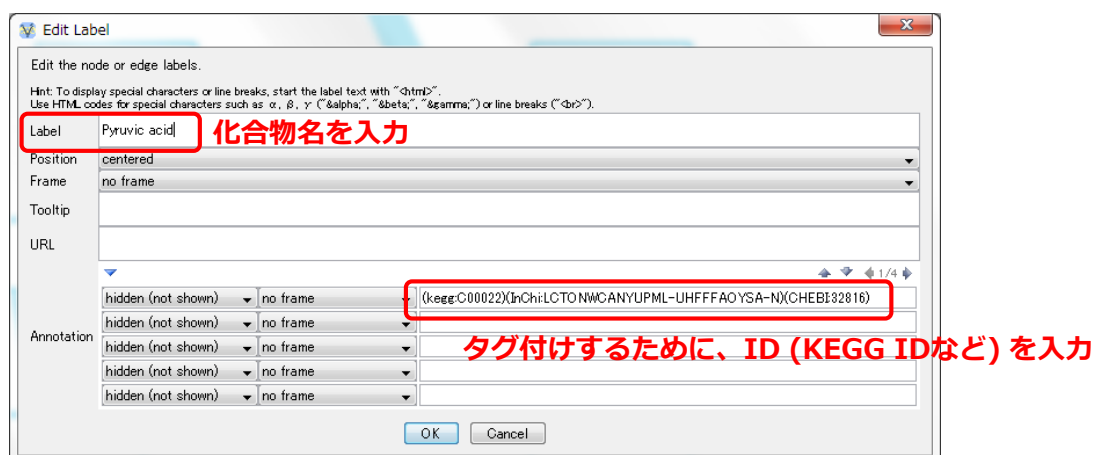
## 2. 6. 化合物名の表示

箱の中に入る化合物名を表示させます。

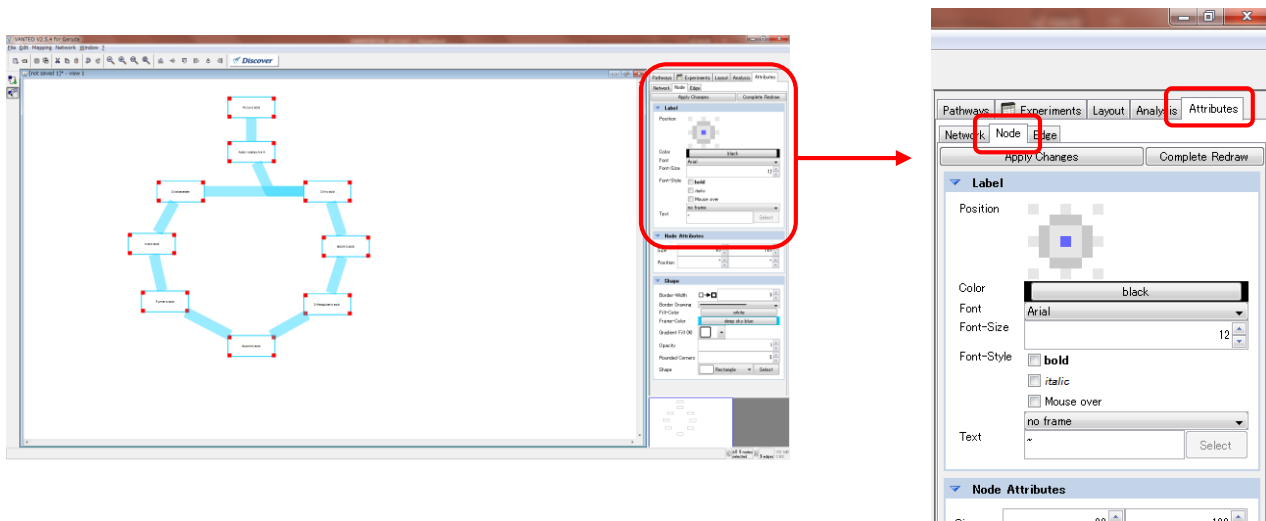
化合物名を入力したい箱を選択し、クリックすると以下の画面が出ます。



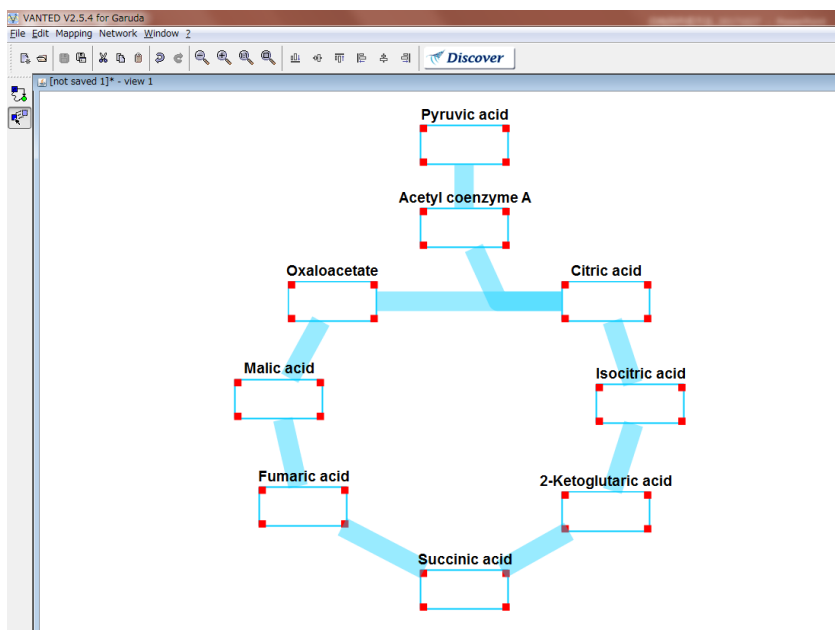
化合物名やタグ付けするために必要な情報を入力します。



化合物名を表示する位置、文字のレイアウトを変更します。  
箱を選択し、画面右の[Attributes]→[Node]から変更します。



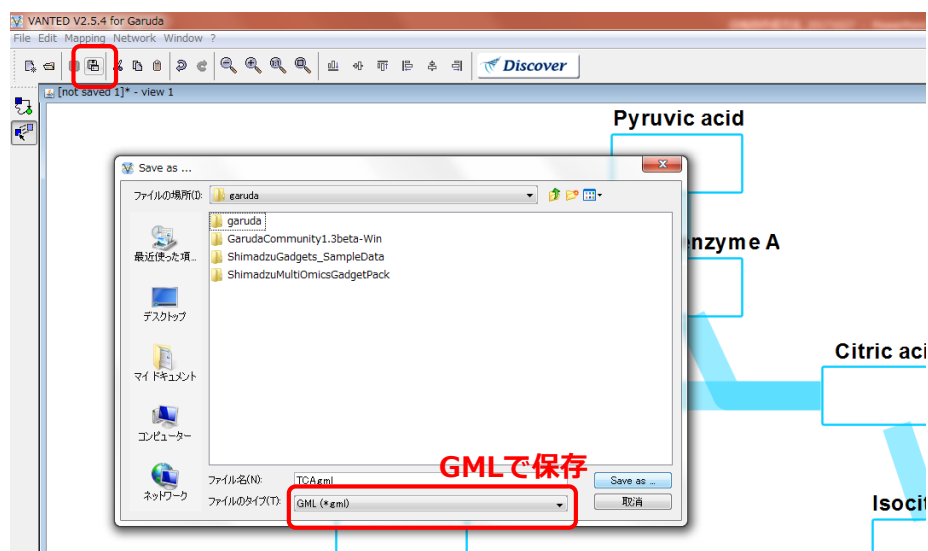
化合物名を表示する位置、文字のレイアウト  
を右のように設定しました。[Apply Changes]  
をクリックすることで、その設定が反映されます。



①文字のレイアウトを設定

## 2.7. 保存

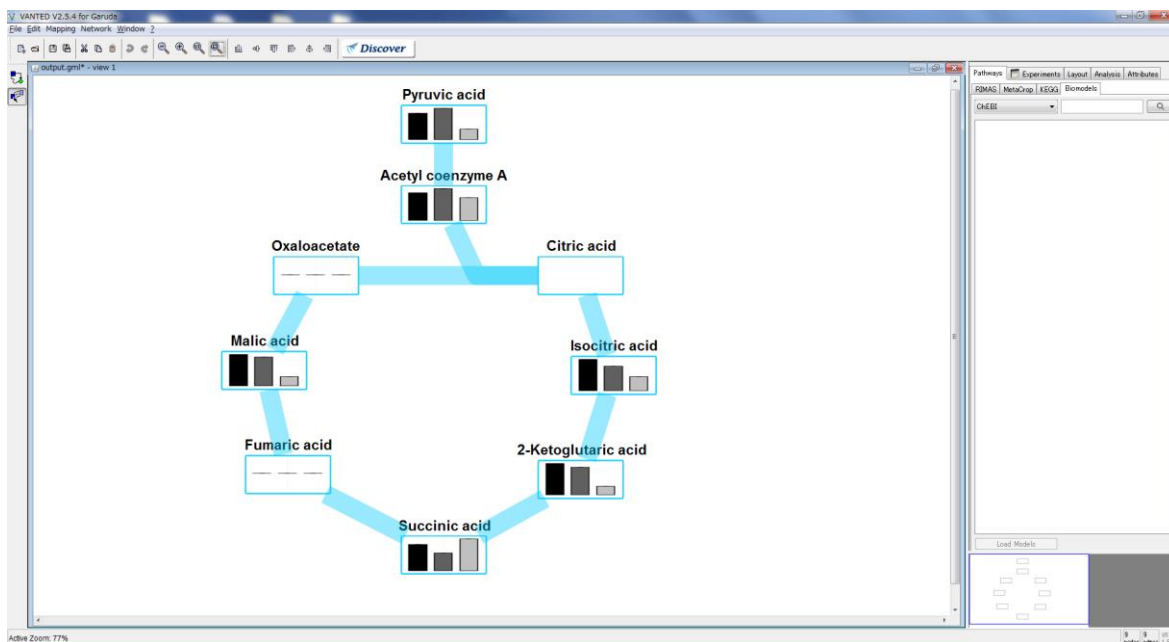
作成した代謝マップを保存します。[Save the current graph as...]をクリックし、データのタイプをGMLとし、ファイル名をつけ保存します。



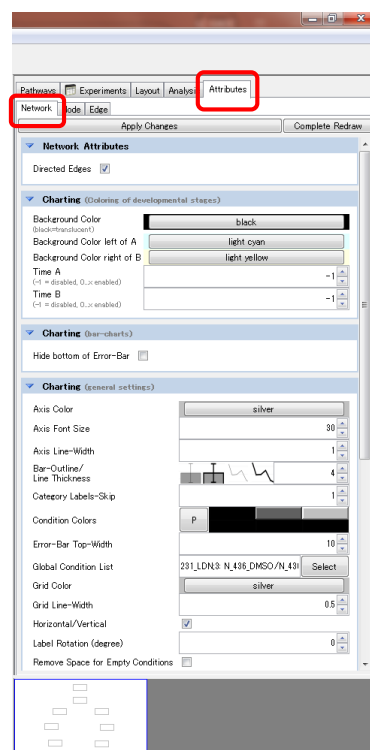
\* ファイル名にスペースが入ると、データを読み込めないため、スペースは使用せずにファイル名を付けます。

## 2. 8. バーのレイアウト変更

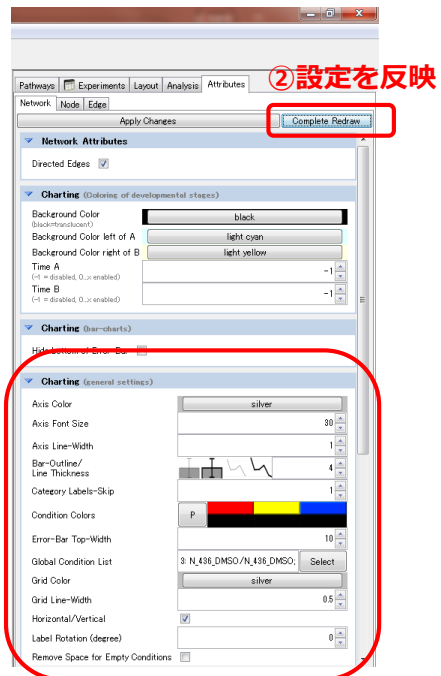
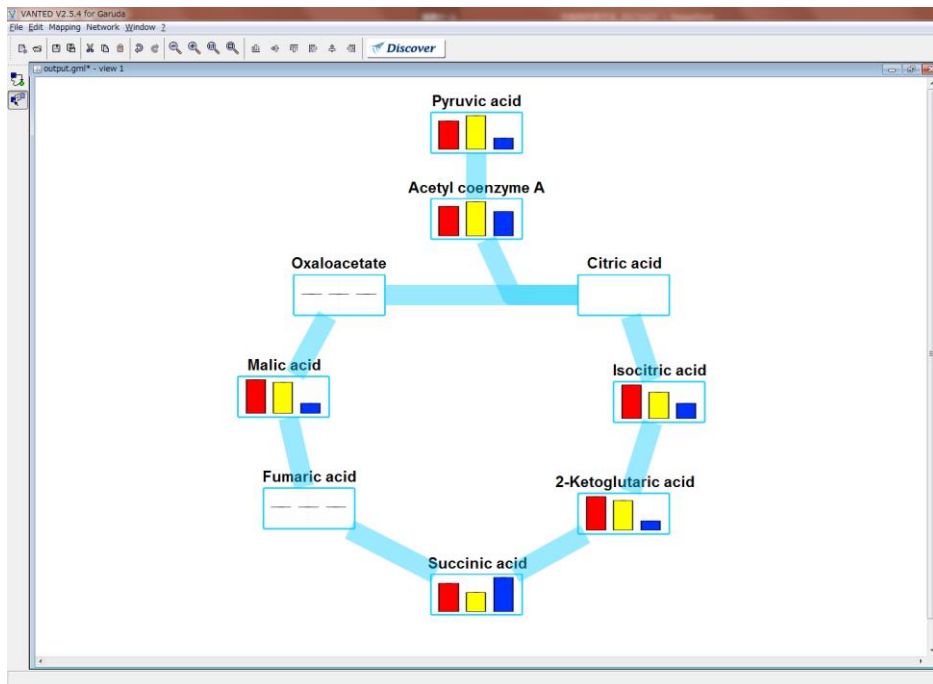
データを作成した代謝マップで開くと以下のように表示されます。



バーの色などレイアウトを変更します。  
画面右の[Attributes]→[Network]から  
バーのレイアウトを変更できます。



バーのレイアウトを右のように設定しました。  
[Complete Redraw]をクリックするとその  
設定が反映され、以下のようにレイアウトが  
変更されました。



①バーのレイアウトを設定